

# 内藤記念科学振興賞 受賞者芳名

(敬称略)

受賞年度(回)	受賞者	研究業績
1969年 (第1回)	東京大学薬学部 教授 浮田忠之進	核酸および関連物質の生物化学的研究
	名古屋大学理学部 教授 岡崎 令治	DNA複製の分子機構に関する研究
1970年 (第2回)	九州大学歯学部 教授 栗山 熙	内臓平滑筋細胞の電気生理学的研究
1971年 (第3回)	東京大学医学部 教授 山川 民夫	複合糖脂質とその先天代謝異常症 (リピドーシス)の生化学的研究
1972年 (第4回)	岡山大学医学部 教授 山崎 英正	ヒスタミンの遊離および代謝に関する研究
1973年 (第5回)	京都大学理学部 教授 岡田 節人	細胞分化と細胞分化転換の研究, 高等動物 における細胞分化の転換
1974年 (第6回)	東京大学理学部 教授 向山 光昭	生理活性物質の新合成法に関する研究
1975年 (第7回)	東北大学医学部 教授 菊地 吾郎	グリシンとその関連物質の代謝に関する研究
1976年 (第8回)	九州大学医学部 教授 大村 裕	摂食調節の神経機序
1977年 (第9回)	福島県立医科大学 教授 小島 瑞	細網内皮系統の細胞病理学的研究
1978年 (第10回)	愛媛大学医学部 教授 須田 正己	高等動物におけるバイオリズムに関する研究
	城西大学薬学部 教授 山田 俊一	アミノ酸を用いる光学活性生物活性物質の 合成研究
1979年 (第11回)	大阪大学医学部 教授 山村 雄一	免疫異常とその制御—結核菌及びその菌体 成分を用いた免疫機構の人為的制御—
1980年 (第12回)	名古屋大学農学部 教授 後藤 俊夫	tRNAに含まれる超修飾ヌクレオシドQの 化学的・生化学的研究
	国立がんセンター研究所 生物学部 部長 西村 暹	

受賞年度(回)	受賞者	研究業績
1981年 (第13回)	岡山大学 名誉教授 水原 舜爾	新含硫アミノ酸の発見と代謝異常の研究
1982年 (第14回)	該当者なし	
1983年 (第15回)	群馬大学医学部 教授 高木 貞敬	嗅覚の神経生理学的研究
1984年 (第16回)	熊本大学医学部 教授 林 秀男	炎症における白血球遊出の分子病理学的機構
1985年 (第17回)	京都大学理学部 教授 大西 俊一	スピンドラベル法の開発と生体膜の動的構造及びウイルス細胞内侵入機構の解明
1986年 (第18回)	帝京大学薬学部 教授 野島 庄七	生体膜脂質の代謝および機能に関する研究
	北海道大学理学部 教授 正宗 直	ダイズシスト線虫ふ化促進物質に関する研究
1987年 (第19回)	京都大学薬学部 教授 山科 郁男	細胞膜糖タンパク質糖鎖の生化学的研究
1988年 (第20回)	名古屋大学理学部 教授 野依 良治	有機金属化学を基盤とする生理活性物質の合成
	帝京大学医学部 教授 藤井 儂子	妊娠中の母体環境要因により子孫に発現する継世代的機能異常の基礎的研究
1989年 (第21回)	東京大学薬学部 教授 大沢 利昭	レクチンの生化学と細胞生物学的応用
1990年 (第22回)	大阪大学医学部 教授 濱岡 利之	免疫応答におけるヘルパーT細胞機構の解明と細胞性免疫制御への応用
1991年 (第23回)	東京大学応用微生物研究所 教授 水島 昭二	細菌の細胞表層の構造と機能に関する研究
1992年 (第24回)	ハーバード大学 教授 岸 義人	複雑な天然有機化合物の全合成および構造に関する研究
1993年 (第25回)	九州大学理学部 教授 岩永 貞昭	血液凝固の分子機構に関する研究
	大阪大学基礎工学部 教授 柳田 敏雄	1分子解析法の開発と生物分子モーターの動作原理に関する研究

受賞年度(回)	受賞者	研究業績
1994年 (第26回)	東北大学農学部 教授 安元 健	海洋毒の化学構造、作用及び動態に関する研究
1995年 (第27回)	東京都臨床医学総合研究所 副所長 矢原 一郎	細胞骨格とストレス蛋白質の機能的研究
1996年 (第28回)	名古屋大学大学院理学研究科 教授 山田 静之	特異な生物活性を有する天然物質に関する化学的研究
1997年 (第29回)	徳島大学医学部 教授 山本 尚三	アラキドン酸カスケードの生化学的・分子生物学的研究
1998年 (第30回)	東北大学医学部 教授 丹治 順	大脳皮質高次運動野の機能に関する研究
	東京大学医科学研究所 教授 野本 明男	ポリオウイルスの複製および病原性の分子生物学的研究—小児マヒ制御への応用
1999年 (第31回)	東京大学大学院総合文化研究科 教授 浅島 誠	試験管内での臓器形成と遺伝子発現の制御の基礎的研究
2000年 (第32回)	東京大学大学院理学系研究科 教授 若林 健之	筋収縮の分子機構の三次元構造に基づく研究
2001年 (第33回)	東京大学大学院薬学系研究科 教授 柴崎 正勝	革新的不斉触媒の創製を基盤とする医薬合成・天然物合成・生物有機化学に関する研究
2002年 (第34回)	名古屋大学大学院理学研究科 教授 郷 通子	タンパク質のモジュール構造とゲノム構造の相関に見るタンパク質デザインの原理に関する研究
2003年 (第35回)	東京都臨床医学総合研究所 副所長 田中 啓二	プロテアソームの構造と機能及び病態生理に関する包括的研究
2004年 (第36回)	神戸大学大学院医学系研究科 教授 清野 進	インスリン分泌の分子機構とその破綻に関する研究
2005年 (第37回)	東京大学医科学研究所 教授 竹縄 忠臣	イノシトールリン脂質による細胞骨格、細胞運動制御
2006年 (第38回)	早稲田大学理工学術院 教授 木下 一彦	光学顕微鏡を用いた1分子生理学の創成
2007年 (第39回)	学習院大学理学部 教授 花岡 文雄	高発がん性遺伝病細胞を用いた遺伝情報維持機構の解明

受賞年度(回)	受賞者	研究業績
2008年 (第40回)	慶應義塾大学工学部 教授 上村 大輔	生物現象に着目した生物活性天然物の探索研究
	理化学研究所脳科学総合研究センター グループディレクター 御子柴克彦	中枢神経系の発生と分化 —IP <sub>3</sub> 受容体の発見とその機能の解明—
2009年 (第41回)	東京大学大学院医学系研究科 教授 谷口 維紹	サイトカインを基軸とした自然免疫系調節機構の研究
2010年 (第42回)	東京大学医科学研究所 教授 河岡 義裕	インフルエンザ制圧に関する研究

